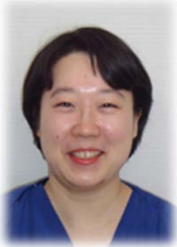


西山堂慶和病院

医師紹介

4月より着任した常勤医師をご紹介します



内科医 東 晴名 医師

はじめまして。東京女子医科大学病院の糖尿病センターより赴任しました、東晴名と申します。大学病院を離れ、知らない土地での勤務に、不安と希望を胸にやって参りました。西山堂慶和病院では、外来と病棟の両方を担当させて頂いておりますが、当初は周りに御迷惑をかけっぱなしでした。その後2か月が経過し、職場の雰囲気や仕事内容にも徐々に慣れ、忙しくも毎日充実した日々を過ごしております。こちらには1年間という、長いような短い期間、仕事をさせて頂きますが、精一杯頑張り、患者様と一緒に歩いていけたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します！！



内科医 増山 大樹 医師

はじめまして。獨協医科大学病院 心臓血管内科より赴任しました、増山大樹と申します。4月から早くも2か月が経過致しました。専門性の高い大学病院から、一般内科医として勤務するにあたり、その環境や疾患分野の範囲の変化に戸惑いながら、皆さまのバックアップのおかげで何とか診療ができています。大学病院では診ることができない様な疾患も多く、わからないことも多々ありますが、その分非常に興味深く、勉強になる事も多いです。まだまだ、慣れないことも多く、日々ご迷惑をお掛けしていると思っておりますが、少しでも患者様や西山堂慶和病院にとってプラスになるよう、努力していきたいと考えております。1年間という短い時間の予定となっておりますが、どうぞよろしくお願い致します。

回復期病棟からのお知らせ

回復期病棟の稼働病床を増床しました

当院の回復期病棟は、今まで20床で行って参りましたが、昨年11月より5床増やし、25床となりました。20床時には、回復期病棟を希望しても満床で受入れが出来ないといった時もあり、患者さまには不快な思いをさせてしまった事もありました。増床により、受入れ体制を見直したことで、今までより少しでも多くの患者さまを回復期病棟に受入れる事が出来るようになりました。回復期病棟には専従となる理学療法士、作業療法士、それと専任の言語聴覚士を配置しており、その役割としては理学療法士が寝起きや歩くなど、基本的な動作を、作業療法士は着替えやトイレなど日常生活動作を、そして言語聴覚士が脳梗塞などによっておこる高次脳機能という障害に対して治療を行わせて頂いております。

1日も早い自立にむけて、スタッフ全員がより良い医療の提供に努め、チーム一丸となり患者様・ご家族の支えになれるよう今後も質の向上を目指して行きます。また病棟では、室内運動会や夏祭り、そしてクリスマス会といった、患者さまが入院生活を健やかに送って頂ける様に、季節ごとにイベントも行っております。

【夏祭りの様子】



新規導入機器のご紹介

ポータブルタイプの超音波診断装置(エコー装置)を導入しました



今回導入した装置はスリムなポールカート型である為、省スペースな空間でも使いやすいサイズとなっており、院内を軽快に持ち運ぶことができます。また、本体はワンタッチでカートから取り外しが可能なので、本体だけを持ち運び検査することもできます。コンパクトなポータブルタイプですが、血管や心臓そして腹部まで一般の診断装置と同様に検査を行うことができ、持ち運びが容易の為、場所を選ばず検査室と同様な検査を行うことが可能となりました。

西山堂病院

看護の日の集い

地域の皆様とのふれあいを大切に

西山堂病院は、医療法人貞心会グループ創設者である荷見ヒサ子元会長の「真心とサービス」の基本理念を継承し、日々、患者様、ご家族様の声に耳を傾け、常に地域の皆様に愛される病院を目指すべく、安心・安全で信頼される医療、看護、介護の提供を行っています。

この度、5月15日(日)に地域の皆様との「ふれあい」を大切に、より一層の地域社会貢献を目指して、23回目となる「看護の日の集い」を実施しました。

午前中は、「かわねや木崎店」で健康相談を行い、約60人の方々にお越しいただき、順番待ちになるほど大盛況でした。「来年もやってね」と嬉しい声もありました。

午後からは、当院リハビリ室にてお楽しみ会と題し、地域の皆様のご協力を得て、マジックショー、民謡発表、健康体操を行いました。こちらも60人を超えるの方々をお迎えし、癒しの時間を共有することができました。



オープン型MRI装置を導入

開放性に優れた最新のMRI装置を導入

「オープン型MRIの特徴」

- 従来型(トンネル型)MRIと比べ開放性に優れたオープン型MRIは、閉塞感から来る患者様の苦痛を大幅に軽減しています。
- 通常は20～30分程度横になっているだけで、まったく苦痛も無く検査は終了します。
- X線は使用しないので、被爆の心配はありません。
- MRI特有の検査時の騒音も小さくなっています。
- 最新技術により、様々な部位や疾患の検査において、幅広い診断情報を提供できます。

※詳しくは医師にご相談下さい。

APERTO Lucent



◆耳鼻咽喉科診療日◆ 火・木・金曜日(1日診療) 水・土曜日(午前診療)

耳鼻咽喉科外来では、OtoLAM炭酸ガスレーザー機器を導入し、中耳炎の患者様にレーザー切開での治療を行っています。

善意の贈り物

病棟に手作りのゴミ入れをいただきました

この度、下内田 白寿会 サロン活動一同様より、チラシを使用した手作りのゴミ入れをいただきました。ありがとうございました。

介護老人保健施設 はすみ敬愛

リハビリ活動状況報告

笑顔をもとめて！

現在リハビリ科には3名のスタッフがおり、スタッフ間のコミュニケーションを大切にしています。リハビリでは沢山の利用者様と一緒にリハビリ体操を行うなど、利用者さまの身体的サポートはもちろん、季節感を取り入れたレクリエーションの提案など、日常生活を楽しくすごして頂けるよう日々考えております。

昨年末の大掃除では利用者様と一緒に雑巾を手作り、出来る範囲で掃除を行って頂きました。普段は見られない表情やとてもイキイキとした姿が見られました。

最近では通所利用者様に鯉のぬり絵をして頂き、通所スタッフと共同で吹き流しをイメージした飾りを作りました。皆様に大変喜んでいただき、希望者には記念にお持ち帰り頂きました。今後も沢山の利用者様に喜んで頂けるような活動に、積極的に取り組んでいきたいと思っております。



通所リハビリテーション

利用者様の心の癒し



今年はレクリエーションの一つとして癒しの提供をテーマにアロマを使ったハンドマッサージを行っています。リラックスできる空間作りのために、アロマの香りとゆったりした音楽を流しています。心をこめて丁寧に優しくマッサージを行ないます。ご利用者様全員に提供できますように誕生月のプレゼントにしています。皆様自分の誕生月を楽しみにしてくれております。ご利用者様からは『手のマッサージなんて初めて！良い経験が出来た。』『とても気持ちよかった。』など喜びの声をいただいております。



レクリエーション

やすらぎと楽しみを

毎月お誕生会をかねて季節のイベント行事を行なっています。2月は職員が鬼に変装し、豆まきを行いました。普段より大きな声で『鬼は外！福は内！』と掛け声をかけていただきました。5月は音楽療法の先生をお招きし、ミュージックケアを行なっていただきました。音楽の力で元気いっぱい体を動かしました。



リハビリスタッフ紹介

みなさんこんにちは！
4月1日よりはすみ敬愛に異動となりました理学療法士の田所幸寛と申します。以前は西山堂慶和病院の回復期病棟に勤めていました。現在は気持ちを新たに、利用者さまのお手伝いをさせて頂いております。私のリハビリは「笑顔」をモットーに行っています。リハビリは辛い、痛い、我慢などのイメージがある方も少なくなく、そんなイメージを変えていきたいと考えております。今後もさらなるサービスを提供できるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

バイク・釣り・ボルダリングが大好きです。



栄養課行事食

《通所》 月1回のお楽しみメニュー
6月 松花堂弁当
7月 うなぎ

《入所》 行事食
7月 7日 七夕ちらし寿司
18日 海の日 三色丼
30日 土用の丑 うなぎ



医療法人 西山会

ひたちの中央クリニック

熱中症予防について

副院長 尾内 高子(糖尿病内科)

気象庁によると今年の夏は猛暑が予想されています。当院でも例年、熱中症で救急搬送される方がみられます。

熱中症を正しく理解し、予防に努めましょう。

熱中症とは・・・

- ・高温多湿の環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体温調整機能がうまく働かないことにより、体内に熱がたまり、筋肉痛や大量の発汗、さらには吐き気や倦怠感などの症状が現れ、重症になると意識障害などが起こります。
- ・気温が高い、湿度が高いなどの環境条件と、体調がよくない、暑さに体がまだ慣れていないなどの個人の体調による影響とが組み合わさることにより、熱中症の発生が高まります。
- ・屋外で活動しているときだけでなく、就寝中など室内で熱中症を発症し、救急搬送されたり、不幸にも亡くなられたりすることもあります。

熱中症の予防法

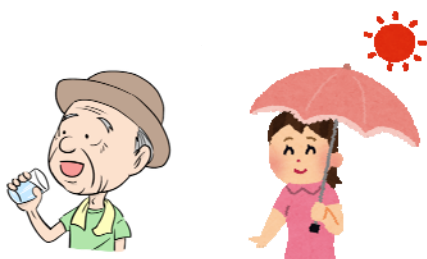
熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！

【水分・塩分補給】

- ・こまめな水分・塩分の補給
* 高齢者の方は、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を

【熱中症になりにくい室内環境】

- ・扇風機やエアコンを使った温度調整
- ・室温が上がりにくい環境の確保(こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など)



【体調に合わせた取り組み】

- ・こまめな体温測定(特に体温調整が十分でない高齢者、子供)
- ・通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用
- ・保冷剤、水、冷たいタオルなどによる体の冷却

【外出時の準備】

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用

熱中症になった時の処置は・・・

1. 涼しい場所へ避難させる
2. 衣服を脱がせ、身体を冷やす
3. 水分・塩分を補給する

以上のことを踏まえ、今年の夏、ご自身・ご家族を熱中症から守りましょう。

新任非常勤医師のご紹介



秦 武弘医師
(循環器内科)
毎週火曜日(1日)

飯田 達郎医師
(循環器内科)
毎週水曜日(1日)

室橋 輝医師
(循環器内科)
毎週木曜日(1日)



みなさまへのお願い

お名前の確認にご協力ください

当院では、患者様の取り違い事故などを防止するため、診察や検査、処置の前や受付窓口等において、患者様のお名前をフルネームでお呼びし、ご本人の確認をさせていただいております。

何度もお聞きする場合がございますが、みなさまの安全管理の為、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。